

## 第2章 紀勢本線（松阪～多気：営業キロ 7.9 km、 九鬼～新宮：営業キロ 45.8 km） 参宮線（鳥羽～多気：営業キロ 32.0 km）他

### 第1節 旅プラン

平成26年のこだわり鉄道つたい歩きは、次の4泊5日に日程で、紀勢本線等に挑戦する。

- (1) 3月20日（木）参宮線  
鳥羽まで電車で行き、鳥羽～伊勢市（14.1 km）を歩く。  
東横イン松阪泊
- (2) 3月21日（金）  
二木島まで電車で行き、二木島～新宮（33.4 km）を歩く。  
新宮ユアアイホテル泊
- (3) 3月22日（土）  
二木島まで電車で行き、二木島～九鬼（12.4 km）を歩く。  
九鬼から松阪まで電車で戻り、東横イン松阪泊。
- (4) 3月23日（日）参宮線  
伊勢市まで電車で行き、伊勢市～松阪（22.9 km）を歩く。  
東横イン松阪泊
- (5) 3月24日（月）  
鳥羽まで電車で行き、伊勢湾フェリーで伊良湖へ。そこからバスで三河田原まで移動。三河田原～植田（11.7 km）を歩く。

### 第2節 1日目：3月20日（木）：参宮線（鳥羽～伊勢市）

#### 小雨のち曇り

鳥羽(13:22)～松下(15:23)～二見浦(16:13)～五十鈴ヶ丘(17:15)～伊勢市(18:15)

3時半位に起床し、旅行の準備。自宅を4時35分出る。次の電車で鳥羽に向かう。南林間駅で相鉄線がストライキとの情報を得る。ストライキという言葉は、忘れかけていたが、久しぶりに聞き、日本の好景気時代を思い出し、非常に懐かしく感じる。この日、相鉄のストライキは午前中の早い時期に解除とのことであった。

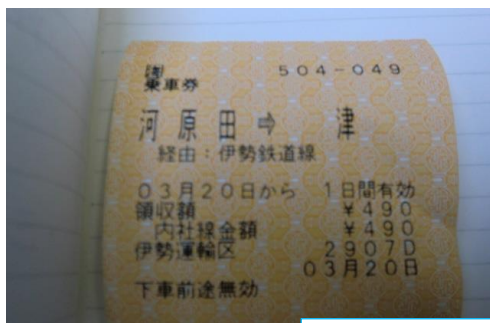


南林間駅 藤沢駅

南林間 5時1分 → 藤沢 5時33分  
 藤沢 5時49分 → 小田原 6時21分  
 小田原 6時22分 → 熱海 6時45分  
 熱海 6時49分 → 浜松 9時19分  
 浜松 9時23分 → 豊橋 9時56分  
 豊橋 10時3分 → 名古屋 10時58分 (新快速大垣行)  
 名古屋 11時37分 → 鳥羽 13時22分 (快速みえ)



名古屋駅



つなぎ切符 鳥羽駅

藤沢駅からの電車はほぼ満席の状態であった。静岡駅で沢山の乗客が降りる。同時にここで乗務員が交代する。安倍川駅と豊橋駅で前方を新幹線が通過して行く。名古屋で乗り継ぎ時間が40分位あったので、駅ホームにある麵亭（憩いこい）で昼食とする。エビ天ぷらきしめんがとても美味しかった。11時37分、鳥羽直通のラピッドみえに乗車する。この電車は、途中伊勢鉄道（河原田～津）を経由している関係で490円要する。それ故、亀山を経由しないで行く関係で、鳥羽までの所要時間は2時間を切った。途中、閑散とした鈴鹿駅（12時18分）を通る。窓越から小雨模様であったので、松阪で一旦降りて荷物を東横インに預けて、再度鳥羽に向かうか否か迷った。しかし、恐らく雨がまもなく上がると考え、鳥羽までそのまま向かうことにする。鳥羽駅には、予定通り13時22分に到着する。鳥羽駅の観光案内所（近鉄改札隣）で、伊勢市までのドライブマップを頂く。係りの女性の方が、この地図に懇切丁寧に伊勢市までのウォーキング経路を赤マジックでメモ頂く。感謝感激。後で考えれば、この地図のお蔭でスムーズに歩くことができた。



鳥羽駅



案内所に立ち寄った関係で、鳥羽駅のスタートは13時45分となる。5程度歩くまでは、傘をささなくてもいい程度の霧雨であったが、少し小雨模様となり、傘をさす。13時58分、志摩スペイン看板前で、本降りとなり、バックにも門口さんから頂戴した雨具カバーをかける。かつて、東北本線の踏破の際、大雨でバッグがびしょびしょに濡れて、バックの中まで雨が浸透したという苦い経験をふと思い出したからだ。14時1分、ドライブイン鳥羽前を通過。14時15分、鳥羽商船高校前を通過。14時22分、近鉄線を横切る西の辻橋を渡る。14時32分。堀通橋を渡る。14時37分、鳥羽市から伊勢市となる。14時55分、左手にマコンデ美術館（アフリカ）があった。その先でJR線を横切り、鉄道の右側となる。15時23分、本日最初の松下駅に到着する。階段を上った先にホームがあった。松下という駅名は、ホーム上の看板しかなかった。少しあとで、下り電車がやって来る。



マコンデ美術館

松下駅

15時41分、江川橋を通過する。15時31分、二見シーパラダイス前を通過。15時52分、364mあるトンネル前に。この辺りで、万歩計の誤操作でメモリが0クリアとなる。このトンネルを出ると雨が上がる。16時13分、モダンな駅舎をもつ二見浦駅に到着。16時45分、万歩計で259歩ある汐合橋を渡る。17時15分、鹿之海（かのめ）踏切を横切り鉄道の左側となる。17時15分、五十鈴丘駅に到着。この駅で晴れとなる。17時31分、伊勢学園前を通過。17時41分、伊勢警察署前を通過。18時10分、近鉄宇治山田駅前を通過。18時18分、伊勢市駅に到着する。18時48分発の電車で伊勢市から松阪駅へ。19時14分、多気で待ち合わせあり。そして松阪駅に向かう。





二見浦駅      五十鈴丘駅

東横イン松阪（310号室）には19時40分到着。昨年もお邪魔したホテル前の“すずやん”で22時半頃まで懇談する。富山方面からゴルフ旅行に来られた広瀬氏（宮田さんに似ている）、成瀬氏、奥村、柴田氏。主張で来られた山田氏（辰巳君の感じ）、川村氏と。本日は、早朝のスタートとなったが、また、雨模様で歩きの状況は、よくなかったが、予定の鳥羽=伊勢市（14.1km）が予定通り踏破でき、“すずやん”でも新しい人との出会いもあり充実した一日であった。なお、万歩計は途中でゼロクリアとなったが、17,583をマークする。



近鉄宇治山田駅      伊勢市駅

### 第3節 2日目：3月21日（金）：二木島～新宮      晴れ時々霧雨

二木島(8:13)～新鹿(あたしか、9:49)～波田須(11:18)～大泊(12:28)～熊野市(13:15)～有井(14:28)～神志山(こうしやま、15:43)～紀伊市木～阿田和(16:48)～紀伊井田(17:45)～鶴殿(18:41)～新宮)19:53)

2日目の2014年3月21日（金）は、二木島=新宮（33.4km）に挑戦する。当初は、

新鹿＝新宮（29.4 km）であったが、営業キロが30キロ未満で達成感が味わえないことから、急遽一駅延ばす。結果的大成功。二木島＝新鹿（あたしか）は、熊野古道からみでかなり難しかったからだ。



松阪駅

二木島駅

8時13分、二木島駅を降りるや否や、強風の中、新鹿駅への方向が分からず右往左往する。住人の方に聞いて、やっと新鹿駅が分かる。すなわち、200m～300m位、急な坂道で幅が狭い石段を駆け上がるハードな山登りを余儀なくされる。すなわち、熊野古道である。ウォーキングで初めて厳しい体験である。10分位歩き、国道311号線に出る。二木島駅の案内板がある。この国道から二木島駅は遥か下にあった。駅舎は木々が邪魔して見えず。風光明媚な海岸線のみが見える。



二木島駅界限





8時34分、二木島峠・逢神坂峠トンネルと記した標識前を通過。8時39分、万歩計で751歩あるトンネルを通過。9時2分、海岸線にかかった虹を見る。9月2日と言えば、親父の誕生日。そして、本日はお袋の85歳の誕生日。何か、この虹は私に話しかけているような様子であった。それにしても、このようなはっきりした虹をデジカメに収められ感謝感激。いい前兆であると考えたい。



前方に虹

前方高台到新鹿駅

9時13分、新鹿町に入る。9時32分、101歩ある湊川（湊橋）を渡る。9時49分、前方高台に電車が停車しているのを発見。黒川という川を渡ったところからであった。熊野古道を通り、高台にある新鹿駅には9時49分に到着。中高年の職員の方が、ホースでトイレ掃除をいているところであった。車で各駅回っているのであろう。9時54分、次の看板前を通過。「二木島峠道・逢神坂峠道登り口0.9km／波田須の道登り口1.4km（熊野古道）」を。9時59分、新鹿の蘭という標識前を通過。



新鹿駅



新鹿の蘭

10時20分、熱くなってきたので、ベストを脱ぐ。ここで危うく、Ipodの線をロストしそうになるが、50m位歩いて気がつく。安堵する。10時26分、波田須町に入る。10時32分、213歩ある波田須トンネルを通過。「波田須の道／世界遺産／熊野古道」の標識前を通過。10時45分、波田須の道の標識前に到着。ここから熊野古道が続いているのであろう。

その先で風になびく「ようこそ世界遺産の街熊野市へ」の旗があった。丁度、徐福茶屋前のバス停であった。この近郊から波田須駅があるのではないかと、急な坂を150m位下りる。しかし、駅らしいものが見当たらないので引き返す。途中に波田須多目的集会所があった。半ば諦めていた波田須駅を親切の地元の方に運よく出会い、その駅を親切に教えて頂く。国道から300m位下った先にあった。急な細い歩道を用意深く下る。11時18分、波田須駅に到着する。



波田須駅

トンネルを出た先にあった。この駅は、地元の人々の応援がなければ、クリアできていないだろう。非常に価値ある波田須駅の踏破であった。上りは下りと異なり、遠回りして安全な道を歩く。11時30分、国道に戻る。「徐福の里／波田須」という看板前があった。11時39分、熊野峠を通過。ここで、「徐福の宮／波田須の道～大吹峠」について説明した標識があった。11時56分、175mある磯崎トンネル(303歩)を通過。12時8分、高台から熊野市や新宮市が一望できる。すなわち、海岸線が続いていた。12時28分、大泊駅に到着。





大泊駅

12時40分、大泊海岸交差点前を通過。世界遺産と記した熊野市の旗が揺らいでいた。この旗は数十メートルに渡り続いていた。12時47分、570mある鬼ヶ城トンネル（974歩）を通過。13時3分、県立木本高校前を通過。13時11分、花の窟（わや）という大きな崖前を通過。13時15分、熊野市駅に到着。駅前には広々とした空間を持っていた。駅前中華料理屋（熊野古道関連で推奨された店の看板あり）で昼食を摂ろうとしたが、生憎満席でパスする。13時18分、84歩ある亀齢（きれい）橋を渡る。その先の国道に沿って運よく「すき家」がある。ここですき焼き定食を頂く。この店を13時50分出る。



西郷川橋 熊野市駅

この国道は、海岸線に沿って続いていた。また、国道に沿って心地よい美的な歩道が続いていた。浜街道（七里御浜）の石柱の標識が随所にあった。花の窟の案内板もあった。花の窟神社も歩道に面してあった。気持ちよくなったため、有井駅を少し過ぎた先で右折する。200m位行き過ぎていた。駅が見えるが、駅舎には中々行けず。やっと有井（ありい）駅には14時28分到着。駅の近くには有馬小学校（14時30分）があった。国道に戻る。15時35分、浜泡町に入る。15時43分、神志山（こうしやま）駅に到着。



浜街道



有井駅

神志山駅

この駅は、国道に面してあった。近くには海岸線が続いていた。16時2分、新宮まで15kmの道路標識前を通過。16時32分、御浜町役場前を通過。16時38分、七里御浜探勝歩道の看板前を通過。霧雨が強くなり、少し手足が冷たくなる。阿田和駅には16時48分到着。ここで、ベストを着る。残念ながら、用心深く、鉄道近づきながら歩いたにも関わらず、神志山駅から1.5km先の紀伊市木駅をロストしてしまっていた。今回のシリーズで唯一の未踏破駅となった。理由は、民家が邪魔して、国道側からは発見できなかった。恐らく、この駅は踏切から展望しないと発見できないからだ。簡単な駅程見逃す傾向にある。今回もそのジンクス通りとなった。



七里御浜探勝歩道



阿田和駅



紀伊井田駅

阿田和駅から、時々ジョギングして進むことにする。何としても、紀伊井田駅と鶴殿（うどの）駅には、明るいうちに到着したかったからである。17時13分、橋を渡る。新宮11kmの道路標識が近くにあった。17時18分、向山バス停前を通過。17時40分、紀宝町に入る。17時51分、道の駅（紀宝町ウミガメ公園）前を通過。17時45分、紀伊伊田駅に到着。18時8分、新宮6kmの地点に達する。途中、道に迷いそうな道路もあったが、18時41分、すっかり日没した中、鶴殿駅に到着。構内から、新宮行の電車が少し遅れているとのアナウンスがある。18時48分、JR貨物の踏切（鶴殿踏切）を横切る。左手に工場の高い煙突（徳山や四日市と同じような感じ）が、海岸に沿って数個あった。白い煙が遠目からも確認できた。19時15分、JR線下を潜る。前方に成川を横切る電車を発見する。この近郊の道路は成川に沿って続いていた。19時25分、成川の橋の袂に到着。橋の途中、三重県と和歌山県の県境があった。この橋は801歩あった。シッター通りのアーケード街を通り、新宮駅には19時53分到着。駅前には交番があった。





鶴殿駅

新宮駅

新宮ユーアイホテル（404号室）には20時11分到着。駅から7分位歩いた先にあった。5階のビルであった。日本生命の看板も見えた。ホテルだけあり、通路は広かった。じゅうたんも心地よかった。夕食はお好み焼き“らんばん”で寛ぐ。生憎、客は私だけであった。それ故、カーボーイ姿のマスター（田中松男氏：新宮市井の沢1-24：0735-22-3936）と親しくさせて頂く。息子さんと経営しており、旭川出身とのこと、横浜にも在住したことがあるとのことであった。年も私と同級生とのことであった。それ故色々話が弾む……。途中、自宅で食べる客があった。この店で1時間位歓談する。ホテルには22時頃戻るや否やバタンキュー。本日の営業キロは33.4km、万歩計は79,545歩であった。久しぶりに営業キロが30kmを超え、充実した一日を送ることができた。



新宮ユーアイホテル

らんばん

## 第4節 3日目：3月22日（土）：二木島～九鬼 快晴

二木島(8:36)～賀田(かた、11:46)～三木里(13:28)～九鬼(16:42)

3時過ぎに目が覚める。早速、本日の作戦を練る。できれば、二木島から23.5km先の尾鷲を踏破したいのだが、地図を見る限り、鉄道に沿った道路が見当たらない。それ故、くねくねした海岸線に沿った路を歩くことが余儀なくされるだろう。恐らく尾鷲までは難しいのではないかとの予感がする。朝食が7時の関係で、6時24分ホテルを出て、駅まで散策することとする。昨日、立ち寄った“らんばん”をデジカメに収める。6時32分、踏切を大阪行きの特急電車(回送)が通過して行く。駅前には、新宮出身の著名人の紹介版があった。新宮駅前には「お燈祭り」のモニュメントがあった。新宮鉄道(新宮＝勝浦)100周年の記念碑もあった。その他にも色々……。ホテルには6時45分頃戻る。沢山の客が、ホテルのロビーで朝食を待っていた。7時少し前に、ホテルの食堂がオープンとなる。多気行の電車の関係で、一番乗りで利用(朝食券1,050円)させて頂く。ホテルだけあり、朝食が豪華なバイキングが用意されていた。



新宮駅



朝食を済ませ、ホテルを7時15分頃出る。新宮駅には7時25分頃到着。青春18きっぷにスタンプをおしてもら。1番ホームには熊野本宮大社等の初詣の元気な馬の干支が3組あった。3番ホームに移動する。7時44分発の多気行に乗車する。二木島駅到着は、8時

36分であった。8時6分、昨日見逃した紀伊市木駅をデジカメに収める。住宅の影で、海岸線からは死角の駅であった。残念ながら納得が行く。



新宮からの列車 未踏破の紀伊市木駅

二木島駅には8時36分、到着。犬を散歩させている方に、賀田（かた）への行き方をお尋ねする。昨日 NG であった方向から行けるとの情報を得る。何となく変だと思い、別の住人にお尋ねし、やっと賀田駅への道筋が理解できる。この路は、海岸線に沿ってくるくる回る道筋だった。確認のため、数人の方にお伺いする。今から考えると国道に直接出るのが、一番早かったと思われる。9時9分、国道311号線に出る。9時18分、甫田町に入る。9時25分、甫田漁港を通過。この近郊は熊野市甫田町とあった。



二木島駅

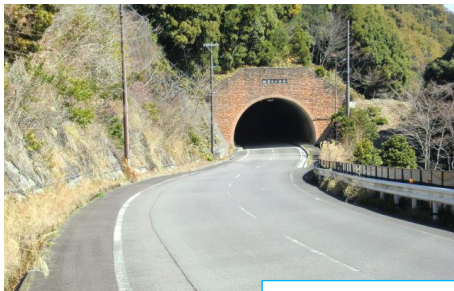
二木島駅界限海岸





楯ヶ崎

9時49分、楯ヶ崎に到着。数台の車が泊っていた。ここから遊歩道が岬に向かってあった。10時7分、須野町に入る。10時31分、197.5mある須野トンネル前(348歩)を。トンネルを出ると、熊野市から尾鷲市となる。10時42分、1,370mある梶賀トンネル前(2,252歩)に。トンネルを出るや否やまたトンネルが。このトンネルは行っても行ってもトンネルであった。当初137mと誤って転記したこともあるが。トンネルを出た先に海岸線に出る道路があり、再度トンネルに入るか道路で海岸線に出るか迷う、道路標識が、次の曾根トンネルを通るコースだったので。このコースを選択することとする。11時5分、決断した結果、曾根トンネル(1,794歩)を通過することとする。11時33分、曾根小学校前を通過。11時40分、左手にJRを見つけ安堵する。賀田駅には11時46分到着。



トンネルの連続

賀田駅

11時51分、古川橋(104歩)を渡る。12時27分、三重県尾鷲栽培漁業センター前を通過。ふれあいバスと対面する。この辺りの地名は古江町とあった。12時48分、落石防止用のトンネル(179歩)を通過。12時57分、熊野古道で新宮まで50kmの地点に到達。13時12分、八十川(八十川橋:測量ミス)を渡る。この近郊で三木里駅への路を誤り、10分位ロスする。高台にある三木里駅には13時28分到着。



熊野古道案内板



三木里駅

出発直前のバスが待機していた。13時42分、誤って到達した地点（海水浴の看板のあるところ）まで戻る。前方には、石切場の山が見えた。13時45分、サンライム（エビピラフ）で遅い昼食を摂る。14時8分、熊野古道（八鬼山峠）看板前に到着。本日は時々ジョギングしながら進む。14時56分、三木浦漁港の案内板前を通過。15時11分坂道を上る。15時15分、赤色の茶岡橋（137歩）を通過。15時20分、769mある三木浦トンネル（1,418歩）を通過。このトンネルはゆったりとした歩道で歩きやすかった。50m位先に再度254mある早田トンネル（445歩）が。16時15分、新しいアスファルトに对面。途中、分岐点があり迷う。それ故、ナビに頼るかそれとも車の運転手にお尋ねするか思案していたところ、郵便局の車がやって来る。真っ直ぐとのことであった。「暫く進むと JR 線が見えます」とのことであった。もうひとつは早田への路であった。16時37分、九鬼小橋（31歩）を渡る。



サンライム



ゆったりとしたトンネル



九鬼海岸



九鬼駅





大曾根浦駅への路

その先に九鬼駅 (16時42分) があった。少し早い、ここでアップすることにする。次の大曾根浦駅への路は難しいと判断したからである。多気方面の最終電車に乗り遅れる恐れもあるからだ。次の多気行の電車は17時11分であった。30分程度、時間があつたので、九鬼駅近郊を散策する。九鬼大橋があった。17時11分の電車が多気駅へ。多気駅には19時19分到着。多気駅で19時47分の快速みえに乗り継いで、松阪には19時56分到着。一旦ホテル (20時10分) に戻り、“すずやん” で夕食とする。福岡出身の上野さんという方の1時間半位懇親させて頂く。本日は営業キロ12.4kmと不燃焼であったが、無事九鬼まで到達できよかった。なお、万歩計は51,690歩だった。



東横イン松阪      すずやん



松阪駅      伊勢市駅